



株式会社サイバーレコード 代表取締役社長
 YMCA学院 卒業生

増田 一哉 さん

人材こそ、会社の競争力

服装自由、副業を推奨、昼寝ができるリラックススペース、互いを「さん」で呼ぶ社風。これらを聞くと大都市の企業を思い浮かべますが、ここは熊本市南区の株式会社サイバーレコード。創業者で代表取締役社長の増田一哉さん(39歳)はYMCA学院の卒業生です。

サイバーレコード社はEC(エコマース)がメイン事業。ECとは、インターネットを介した商取引のこと。個人向けにはネットショッピングと言えば分かりやすいでしょう。社員はおよそ100人。なぜ会社を熊本に?最初の質問に増田さんは答えます。「人材こそ、会社の競争力と信じてやってきました。仮に当社が東京にあったら、人材獲得では圧倒的なボリュームの情報に埋もれてしまうんです。一方で熊本にITを学ぶ学生がいても有望な人材はみんな県外に行ってしまう。『熊本にもこういう企業があるんだ』と思ってもらいたい。そのために新しいものは取り入れていきたいですね。もう一点は、商取引上の利点だといいます。「九州では優れた製品が数多く生産されています。当社のサービスを通して商品の良さを知ってもらい、届けることに意味があるんです。新型コロナ収束後は、マーケットを海外に広げます。東アジアの主要都市は、熊本からとても近い。熊本には大きな潜在力があります」。

地方創生とネットの親和性をビジネスで追求

“オタク”の社風。ロールモデルはいない

サイバーレコード社は管理職の約半数が女性。今後は外国人の採用も検討しているといい、県内企業では突出したダイバーシティ推進型の企業です。「うちは社員がなかなか辞めない。4年目以降になると離職率は1%ほどです」。

増田さんの強い信念の一つが「無理な受注、品質を犠牲にする仕事、安易な業態拡張はしない」。「ふるさと納税ってやったことありますか? 地方に優れた特産物があって行政はそれをアピールしたい。一方、消費者にはその製品のすばらしさが伝わりにくい。その課題に当社は2016年から取り組んでいます」。社員の平均年齢31歳、84%が熊本県出身者と熊本の若い力が活かされ、業績が地方に還元されるビジネスモデルが整えられています。

目指すロールモデルは?との質問には「いませんね」とあっさり。「うちは体育会系の、いわゆる“エイエイオー!”ではなく真面目にコツコツ、“オタク”の社風です。社員に言っているのは『得意分野を見つけよう。不得意なことを無理して続けるのはやめよう。見つけられなければ辞めてもいいんだよ』ということです」。「辞めてもいい」は突き放す意味ではありません。「うちにいることだけが幸せとは限らない。再就職先の相談にも乗ります」。増田さんの経験に裏打ちされたチームづくりの考え方です。

地域の価値をつくる

増田さんがサイバーレコード社を立ち上げたのは26歳の頃。「私が高校生だった2000年、政府はIT革命を宣言しました。これからはインターネットが世の中を変えていくんだと、起業を志し、YMCA学院に進学しました」。起業してしばらく音楽コンテンツの販売に挑戦したもののうまくいかず、同時展開していたEC運営代行に特化。しかし5年ほどは「鳴かず飛ばずだった」といいます。「私の給料がない時期もありましたね。その間もYMCA時代の先生方とはずっとお付き合いがありました。年齢もそれほど離れていない先生は“お兄さん”のような存在で、学生時代、一緒にサッカーをしたの思い出です。YMCAの博愛の精神、よりよい地域・社会にしようという考えは、SDGsが謳われる今の時代にマッチしていますよね。現在のYMCA学院でもそれを活かしてほしいと思っています」。

これからの目標について増田さんは語ります。「この先も人材の獲得と育成に力を入れ、会社全体が同じ方向を向いて、“地域の価値”をECでつくる。今が一番忙しいですよ。これからが私の正念場です」。



決算発表会

富田宇宙さん 東京2020 パラリンピック 競技大会

メダル獲得
おめでとうございます

(4面に関連記事)



富田宇宙さんがみなみセンターを訪問



YMCA会員の皆さんからのメッセージ



会員の皆さんからの
メッセージ動画はこちら

I n f o r m a t i o n

行こう 見よう 深めよう

10月1日 Friday

YMCA学院 2022年度入学願書受付開始

4

専門教育
×
人間教育

YMCA学院の2022年度入学願書受付が10月1日からスタートしました。本年度からインターネット出願を採用。遠隔地からの進学者や社会人・既卒者への入学支援制度もありますのでご相談ください。



	出願期間	選考日	合否発送日	手続締切日
第1回	10月 1日(金)～10月 6日(水)	10月10日(日)	10月14日(木)	11月 5日(金)
第2回	10月12日(火)～10月20日(水)	10月22日(金)	10月27日(水)	11月12日(金)
第3回	11月 4日(木)～11月10日(水)	11月13日(土)	11月17日(水)	12月 3日(金)
第4回	12月 1日(水)～12月 8日(水)	12月11日(土)	12月15日(水)	12月24日(金)

※第5回以降の入学試験についてはWebサイトをご確認ください。
※特待生、指定校推薦、YMCA特別奨学生の入学試験は第1回、2回、6回です。

図 YMCA学院 Tel 096-353-6393

インターネット
出願はこちら▶



12月11日 Saturday

KUMAMOTO市民クリスマス2021チャリティー 岩永知樹チェロコンサート

11

音楽
×
チャリティー

チェリストの岩永知樹さんらを招き、チャリティーコンサートを開催します。益金は「熊本地震」「2020年7月豪雨」復興支援等災害支援活動のために用いられます。感染症対策を講じて行います。

図 12月11日(土) 13:30開場 14:00開演

場 熊本白川教会(熊本市中央区九品寺2-2-44)

チケット全席自由 1,000円(高校生以上)

チケット取扱 熊本YMCA各施設(10月20日(水)発売)

出演

岩永 知樹さん

大河ドラマ、連続テレビ小説等のテレビドラマから映画、CM、ポップスの音楽でソロパートを多数演奏。スティービー・ワンダー、ボン・ジョヴィらのライブに参加し、様々な音楽シーンで活躍中。近年は教会、寺院等で演奏活動を行っている。

原田 朋香さん

九州音楽学園音楽専任、NPO法人テアトロ・リリカ熊本専属ピアニスト、熊本メールハーモニ専属ピアニスト。

主催 市民クリスマス実行委員会

図 熊本YMCA 本部事務局 Tel 096-353-6397



11月28日～12月5日

みんなで目指そう1000km! インターナショナル・チャリティーラン

3 17

走る
×
チャリティー



YMCAインターナショナル・チャリティーランは、障がいのある子どもたちも、そうでない子どもたちも、ともに幸せに生きていける社会を目指して、全国21のYMCAで開催しています。今年の熊本大会は、期間内に各自が走った距離を申告して、合計1000kmを目指します。益金は、YMCAの障がい児支援プログラムに用いられます。エントリー方法など、詳細は11月号でご案内します。

期間 11月28日(日)～12月5日(日)まで ※11月28日(日)に益城町総合運動公園でオープニングランを開催予定 図 本部事務局 Tel 096-353-6397

10月22日～29日

YMCAフィランソロピー協会 フェアトレード講演会

SDGs
×
講演

YMCAフィランソロピー協会の年次総会をオンラインで開催します。今年は熊本市がアジアで初めてフェアトレードシティの認定を取得して10年。フェアトレードくまもと推進委員会の代表である明石祥子さんの講演を動画配信でお届けします。

図 10月22日(金)～29日(金)

図 覧方法 右記Webページから
どなたでもご覧いただけます。



明石 祥子さん

経済的な困難を抱える子どもたちのために 参加費減免制度のご案内

3 4

公益財団法人熊本YMCAはすべての人々がYMCAのプログラムに参加できるように、参加費の減免制度を設けています。

ひとり親世帯や、特別児童扶養手当受給世帯等、YMCAのプログラムに、経済的理由により参加できない子どもたちに対して、費用の一部を減免します。

◎参加費減免制度は、熊本YMCA年末募金など、皆様からの尊いご寄付によって支えられています。



参加できるプログラム

通年プログラム

ウエルネスプログラム(体操・水泳・サッカー、野外活動、キャンプなど)、語学教育プログラム(英会話)、アフタースクール、各種講座など

季節プログラム

短期講習会(春期・夏期・冬期)、シーズンキャンプ・デイキャンプなど

その他

発達障がい児支援プログラム、YMCAが行う諸行事

※参加費減免制度の利用には、書類の提出・職員との面談が必要です。申請方法の詳細はWebサイトをご覧ください。



図 日時 図 会場 図 内容 図 参加費 図 定員 図 参加条件 図 持ち物 図 対象 図 主催 図 締切 図 申込 図 問合せ 図 その他

R | E | P | O | R | T

[9月15日⇒ 9月18日]

国際

共に祈りを ミャンマーとつながる報告会

2月にミャンマー国軍によるクーデターが発生し、今もなお国軍支配が続いているミャンマー。9月15日(水)、ミャンマーのYMCA関係者2名と日本をつなぐ「熊本YMCAミャンマーを想う会」をオンラインで開催しました。

熊本YMCAは2011年からミャンマーのモガウンYMCAを通して、エイズ孤児を支援。スタディーツアーを実施するなどして交流を続け、クーデター発生以降は募金活動も行っています。今回は、東京・大阪・福岡等、全国からの参加もあり、モガウンYMCAの総主事のノジャさんや、2014年に来日して

熊本で学び、その後エイズ孤児院の運営にも関わったヌータンサンさんと現在のミャンマー情勢や今後の展望について分かち合いの時を持ちました。

孤児院の子どもたちが自己紹介をしながら見せてくれた笑顔に安心する一方で、ヌーさんの「明日、私たちはどうなっているかわからない」という言葉に重みを感じ、「平和」について考えさせられました。

熊本YMCAは世界各地の困難な中にいる方々と祈りを共にすすめていきます。

職員 木村成寿



モガウンYMCA総主事 ノジャさん

就任

困難な時こそ希望を 総主事就任式を開催

熊本YMCA前総主事の神保勝己さんの逝去に伴い、熊本YMCAの元職員で今年3月まで日本YMCA同盟の本部事務局長を務めていた光永尚生さんが新総主事に就任しました。

9月18日(土)、YMCA本館で就任式を開催。開会礼拝では「すべてを取り戻す時」と題して日本基督教団熊本草葉町教会牧師の森嶋道さんが「神様は、逆風吹き荒れる時代に1番前を走っていかうという勇敢な人をお与えになりました。自分の中に与えられたものを信じ、周りを信じ、YMCAの精神を信じて、失ったものを取り戻す道を進んでいきま

しょう」と奨励。会長の吉本貞一郎さんから光永さんに聖書の引継ぎが行われました。

光永さんは「困難な時こそ希望というゴールを目指していきます。多くの担い手が育ち、世のために光を輝かせ、世の中を動かしていく。YMCAがそのプラットフォームでありたいと思います。明るく、朗らかに、おおらかに、共に一歩ずつ歩んでまいりましょう」と挨拶。日本YMCA同盟総主事の田口努さんや関係者からのメッセージが紹介され、吉本貞一郎さんによる会長挨拶をもって閉会しました。



プロフィール

みつな ひさお
光永 尚生

1960年10月25日生まれ

所属教会：日本福音ルーテル神水教会

1984年 熊本大学教育学部教員養成課程卒業

1987年 熊本YMCA入職 南部センター健康教育部／少年学習教育部

1992年 中央センター 少年学習教育部コーディネーター

1994年 中央センター館長代行

1996年 北部センター館長

1999年 日本YMCA同盟研究所ステップII修了
／ながみねセンター
健康センター 館長兼務2003年 日本YMCA主事認証。
南部センター館長／たさきセンター館長

2004年 熊本みなみYMCA初代館長

2007年 リフレッシュおむた所長

2009年 日本YMCA同盟協力部主任主事
／日本YMCA同盟 東日本大震災支援
対策室長

2012年 仙台YMCA総主事

2013年 むさしYMCA館長

2014年 熊本YMCA副総主事
／熊本YMCA学院副学院長2016年 日本YMCA同盟移籍
／日本YMCA研究所所長
／YMCA東山荘副所長

2020年 日本YMCA同盟本部事務局長

2021年 熊本YMCA総主事就任



大学生時代。金峰山にて

COM・PASSION II

おもいやりとやさしさ

Vol. I

総主事 光永 尚生



熊本バンドにつづく者として

2021年8月19日付で、第15代熊本YMCA総主事に就任しました光永尚生と申します。今年の3月まで、日本YMCA同盟本部事務局長を務めておりました。8月4日に熊本YMCA前総主事神保勝己さんが天に召され、その後任を拝命いたしました。

突然、リーダーを失ったスタッフや会員の皆

様の失意と心労は察するにあまりあります。しかし、その困難の中でも、熊本YMCAを支えていただいている常議員・役員の皆様に、まずは心からのお礼を申し上げます。

私の役割を3つ考えてみました。まず、失意と困難の中にある皆さんの気持ちを1つにまとめ、未来志向のYMCAへと導く役割を担っていきたくと思っています。これは、YMCAの正章の真ん中にある、ヨハネによる福音書17章21節に示された、「みんなのものがひとつとなるため」に他なりません。2つ目は、現状を見える化し、役員はもとより、会員の皆様と地域の皆様に、新たな熊本YMCAの道筋を共有できるように努めることです。そして、最も大切な3つ目は、次代の担い手を育て、その運動を通じて、地

域貢献のできる人材の育成や、地域と全国、世界との交流などに尽力することです。世界を見つめて地域に生きる、YMCAの働きの原点を見つめていきます。

私は大学時代にワンダーフォーゲル部に所属し、遭難対策係を担当していました。その経験から、東日本大震災支援対策室長や熊本地震時に全国YMCAからの後方支援担当などを担ってきました。不確実性の時代、NEW NORMALの時代と言われていますが、「若者たちの熱い想い」の発露でもある、熊本バンドの精神を引き継ぐという自負を胸に「熊本YMCA 良いとこ探しの旅」の舵取りを担わせていただく所存です。よろしくお願いいたします。

わたしのSDGs！

皆さんから投稿されたSDGsの
取り組みを紹介します



▲生活の中で出来ること
投稿者／きのこリーダー
家や外でゴミを捨てる時の「分別」。
環境を守るために普段の生活の中で
できる大切な取り組みですね。



▲Let's ride a bicycle！ 投稿者／＃1025

いつでもどこでも自転車で移動。健康にもいいし、環境にも
優しい愛車。エコバッグと一緒に今日はどこへ行こうかな♪



▲目指せ！健康長寿！
投稿者／タロウとキラリ
金婚間近の私たち。2人一
緒に毎日1万歩越え頑張っ
ています。元気に長生き！

我が家の小さなエコ活動▶
投稿者／カジキマグロ

古新聞を切って流し台においていま
す。食器洗いをするとともに、食器につ
いた油などは古新聞で拭いてから
洗うと水と洗剤の節約になり、下水
を減らすことができますよ。



▲野菜の栄養、いただき！

投稿者／

ほんとはお肉が好き

野菜の皮やくずを煮込んで出
汁をとる、ベジブロスに挑戦し
ました！



わたしのSDGs
募集中

個人でも、
企業・団体
でもOK

投稿はこちら▶



東京2020パラリンピック競技大会 富田宇宙さん おめでとうございます！

熊本YMCA水泳教室の元在籍生である富田宇宙さん
(日本体育大学・EY Japan所属)が東京2020パラリンピッ
ク競技大会競泳に出場。3つのメダルを獲得されました。

男子400m自由形 S11(視覚障がい) 銀メダル

男子200m個人メドレー SM11(視覚障がい) 銅メダル

男子100mバタフライ S11(視覚障がい) 銀メダル

昨年の新型コロナウイルス
感染拡大時に東京の活動拠
点が閉鎖された際に、YMCA
みなみセンターのプールでト
レーニング。中学時代の水泳
部の先輩でYMCA職員の兼瀬
稔宜さんがサポートしまし



富田さん(左)と兼瀬さん

た。パラリンピック終了後の9月21日(火)には富田さんが
みなみセンターを訪問。兼瀬さんらYMCAスタッフの他、ぶ
どうの木幼稚園の園児たちも出迎え、富田さんに手作りメ
ダルを贈るなどして祝福しました。

「KUMAMOTO YMCA NEWS」の2020年8月号では、「パ
ラリンピックで世界を変える」と題して、富田宇宙さんのイ
ンタビューを掲載しています。



PDFはこちら▶

わたしと聖句

ヨブ記 1章21節

わたしは裸で母の胎を出た。
裸でそこに帰ろう。

行き先はあるから

10人の子どもと数千の家畜の全てを突然失っ
たヨブの口をついた言葉が「帰ろう」でした。自分
は手ぶらで誕生したけれど、全てを与えられて生
きてきた。だから神に感謝するという賛歌でもあ
ります。自分が悲惨な経験をする時にそう言い切
ることなど私にはとてもできないと思います。し
かし、自分の力や努力だけで生み出したものなど
何ひとつないことも確かです。手ぶらで誕生し、
手ぶらで元いたところへ帰るのが人生です。それ
なのにその間にすることは、手に入れるための努
力であり、また手にしたもので自分を武装するこ

とであり、これでは足りない不安になったりす
ることです。
我が家でよく流れる歌があります。子ども達が
気に入って歌うのです。美しい旋律と伸びやかで
優しい歌声に心をわしづかみにされました。それ
から歌詞をよく聞いて驚きました。動画の再生回
数1220万回を超える人気曲ですが、その内容
は死に向かって生きる私たちを歌うものだから
です。「全て与えて帰ろう何も持たずに帰ろう」、
「去り際の時に何が持っていていけるの 一つ一つ荷物
手放そう」、「憎み合いの果てに何が生まれるの
わたしが先に忘れよう」。シンガー 藤井風さんの
歌うメッセージは、私ばかりか多くの人の心に響
いています。この歌のタイトルは「帰ろう」です。
ヨブのように苦しむ人も、全ては神の贈り物と
語るシンガーも、心を震わせる聞き手も、誰もが
皆「おかえり」と迎ええられるその先を知ること
で生きる力を得てほしいと、神はあなたに語りかけ
ています。

日本福音ルーテル甲佐教会
安井宣生

発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)

発行人／光永 尚生 編集人／辻 健太郎
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2021年度基本聖句

コリントの信徒への手紙二 4章18節

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに
目を注ぎます。